

コミュニティ冷蔵庫「フリーゴ」でフードシェア（横浜市鶴見区）

誰でもいつでも食品を入れたり受け取ったりできる冷蔵庫。利用の登録は不要。お中元で余ったお菓子や果物のおすそ分けのほか、最近では雑貨などやりとりもあるとのこと。コロナ禍から間もない2020年6月に開始。食品ロス削減が目的だが、“食べられない人を減らしたい”“優しさの連鎖を子どもたちにつなぎたい”との熱い思いも。

(株)木曽屋の中西さん(管理者)をインタビュー

子ども達に朝食の無償提供などの活動もやっている中西さん、フリーゴを始めたきっかけは？
イギリスの街中でリンゴやパンなどを冷蔵庫でシェアしている光景をテレビ番組で紹介していて、素敵！うちの町でもできたらいいな、と思いました。で、たまたまKIRINの自動販売機の配達担当の方に相談したら、何と数日後に冷蔵庫を持ってきてくれました。

良かったことは何ですか？

コロナ禍で失業した方から、「ありがとうございます。助かりました」とメッセージをいただいたり。お中元の余ったゼリーを提供した方が、「ゼリーが減っていくのが嬉しくて何度も冷蔵庫の前を回って確認した」とも。どちら側も温かい気持ちになりますよね。

フリーゴをやっていて、困ったことはありましたか？賞味期限の管理とか

どばっと持っていく人もいますが、必要とされているのであれば、まあいいかと思います。賞味期限については、これまでトラブルはありません。そもそも、賞味期限切れで廃棄なんてこと続けていたら、この先フードロスなんてなくなります。

大らかさを大切にされているのですね。今後の展開は？

海外では、レストランが残った料理を無償で配ったりしている。日本人は「本業が儲からなくなる」と発想しがちですが、むしろ店の評価は上がり、売り上げは下がらないんです。日本でも広がってほしいです。あとは、役所にも置けるようになるといいですね。



フリーゴの所在地：横浜市鶴見区鶴見中央4丁目7-15 KISOYA ラ カンパーナ（株式会社木曽屋が管理）